

令和3年度 第2回 江別市社会教育委員の会議

日 時：令和4年2月18日（金）15時30分から16時30分まで

会 場：教育庁舎 大会議室

出席者：社会教育委員	委員長	高木 玲子	教育委員会：教育部長	西田 昌平
	副委員長	辻 麻紀	教育部次長	千葉 誠
	委員	石川 日出男	生涯学習課長	中島 桂一
	委員	黒河内 葉子	スポーツ課長	堀井 修
	委員	佐藤 レイ子	スポーツ課参事	遠藤 毅史
	委員	藤田 昌之	情報図書館長	山本 則之
	委員	神保 順子	郷土資料館長	櫛田 智幸
	委員	井上 大樹	郷土資料館参事	兼平 一志
	委員	木島 恒道	生涯学習係長	布施 隼人

傍聴者：なし

内 容：報告事項 令和4年度社会教育予算（案）に係る主要事業について

議 題 令和4年度社会教育予算（案）に係る補助金について

会 議 録	
1	開会
2	教育部長挨拶
3	委員長挨拶
4	報告事項 令和4年度社会教育予算（案）に係る主要事業について
高木委員長	報告事項「令和4年度社会教育予算案に係る主要事業について」の説明をお願いします。
中島生涯学習課長	お手元の資料に基づき、令和4年度社会教育予算案に係る主要事業につきまして、それぞれ所管課から説明させていただきます。 はじめに、令和4年度の予算につきましては、2月24日から開催される令和4年第1回江別市議会定例会に上程され、議決を経て確定するものです。そのため、本日も説明する主要事業は、予算案の段階であることをご理解いただき、取扱いにご留意願います。 次に、事前配付しております資料について説明します。 「令和4年度 絵で見る 社会教育事業主要事業」という写真付きの資料は、令和4年度に予定している主な社会教育事業であり、この資料に基づいて各所管課から説明いたします。 次に、「令和4年度社会教育予算案主要事業一覧」であります。5ページと6ページは、第6次江別市総合計画に基づく施策体系です。7ページからは、事業名や主な内容、令和3年度当初予算額、令和4年度当初予算案、増減額などを記載しております。 それでは、生涯学習課の主な事業についてご説明申し上げます。資料1ページをご覧ください。 1段目の「旧町村農場保存活用推進事業」は新規事業であり、江別市の酪農の歴史と産業

堀井スポーツ課長	を広く発信する施設である旧町村農場を、今後長期的に市民に親しまれ、多くの方に利用される施設とするための改修を行います。 令和4年度は施設利用ニーズ調査と市民ワークショップを経て改修方針を決定し、実施設計まで行います。令和5年度に改修工事を行い、令和6年度に再オープンする予定です。 2段目の「北海道林木育種場旧庁舎保存利活用推進事業」については、民間利活用の始まった北海道林木育種場旧庁舎を新たな市民・学生の交流拠点として活用してもらうための各種イベントを開催し、民間利活用を推進するもので、建物歴史セミナーや市内大学施設活用プレゼン会などを開催する予定です。 3段目の「市民芸術祭開催支援事業」は、「まちかどコンサート」や「市民ミュージカル」の市民参加型の芸術文化活動を支援する補助事業です。市民ミュージカルは3年に1度本公演を実施していますが、令和4年度に予定していた本公演が新型コロナウイルスの影響により令和5年度に延期されたため、令和4年度は本公演の準備に係る経費を補助する予定です。また、5年に1度開催している市民美術展受賞作品展と、新規事業として、若手作家の作品展示機会の創出を目的とするまちなかアート月間の開催を補助します。 4段目の「江別の魅力「食」と「自然」を満喫できる体験型学習事業は新規事業であり、「自然環境」や「地場産品」を通じて、江別の持つ魅力が子どもたちに理解されるような体験型学習を実施します。 以上で、生涯学習課所管事業に関する説明を終わります。 続いて、スポーツ課の主な事業についてご説明申し上げます。2ページをお開きください。 1段目の「市内体育施設改修整備」は、安全かつ快適に市民がスポーツに親しむ環境を持続的に提供するため、市民体育館アリーナの屋上防水工事、及び大麻体育館第一体育室の照明改修工事を実施します。 2段目の「あけぼのパークゴルフ場改修整備事業」は、市民スポーツの環境向上と健康増進のため、あけぼのパークゴルフ場のコース増設工事を行います。昨年度に現況測量及び実施設計を行っており、現状の3コース27ホールに、1コース9ホールを増設し、4コース36ホールとするものです。 3段目の「高校総体北海道大会開催事業」は、令和5年度全国高校総体、いわゆるインターハイが江別市のスポーツ振興につながるよう体制整備を進めます。 令和5年度インターハイ北海道大会において、江別市では、競泳・飛込・ホッケーの3競技を開催予定であります。 4段目の「スポーツ合宿誘致推進事業」は、道外からのスポーツ合宿誘致を進め、市民とアスリート等との交流を通して市内のスポーツ振興を図ります。 以上で、スポーツ課所管についての説明を終わります。 続きまして、情報図書館の主要事業についてご説明いたします。資料は3ページをご覧願います。 1段目の「子どものための読書環境整備事業」ですが、学校図書館の環境整備や教育活動の支援のために、学校図書館を巡回する司書3名、これを支援する司書1名を配置する経費と、支援に伴う消耗品費、図書購入費を計上しております。
山本情報図書館長	

櫛田郷土資料館長	2 段目の「情報図書館コンピュータ学習室事業」は、初心者向けパソコン教室の開催や、市民ボランティアの協力のもと、パソコン講習会やインターネット体験の実施に必要な経費を計上しております。 以上で、情報図書館関係の説明を終わります。 続きまして、郷土資料館並びに補助執行を受けておりますセラミックアートセンターの主要事業につきましてご説明いたします。資料は引き続き 3 ページをご覧ください。郷土資料館事業からご説明します。 3 段目の、ふるさと江別塾「江別を学ぶ」開催事業は、市民の郷土史に対する理解を深めてもらうために、歴史講座等を開催するものです。引き続き、小学生を対象に学芸員の仕事などを体験してもらう「子ども学芸員カレッジ」や、市内の史跡を見学する「再発見・江別探訪」などの開催を通じて、市民が江別の歴史を学び、文化財や史跡に親しむ機会を提供してまいります。 4 段目の「埋蔵文化財発掘調査事業」は、文化財保護法に基づく埋蔵文化財の保護に要する経費で、高砂遺跡及び元江別 9 遺跡の発掘調査や、市内における確認調査を行うものです。 次にセラミックアートセンター事業について、ご説明します。 資料 4 ページをお開きください。 1 段目の「セラミックアートセンター企画展開催事業」は、市内大学等との連携による「第 8 回江別市中学校・高校美術部合同展」、「えべつ F U R O S I K I フェスティバル 2022」の 2 本のほか、収蔵品を用いたテーマ展等を予定しています。 2 段目の「陶芸文化普及振興事業」は、センターの特徴を活かしながら生涯学習と やきもの文化の普及啓発を図っていかうとするもので、各種陶芸教室、陶芸体験、技法講座等のほか、工房利用の 1 年間の成果を発表する「工房利用者作品展」を開催します。 説明は以上です。
高木委員長	ただいま、社会教育関係事業の令和 4 年度予算案について説明がありました。 皆さんから質問、意見等はありませんか。
神保委員	生涯学習課新規事業の旧町村農場保存活用推進事業について、施設利用ニーズ調査というのはこれから実施するのでしょうか。また、どのような形で進めていくのでしょうか。
中島生涯学習課長	施設ニーズ調査につきましては、これから実施する予定でございます。施設ニーズ調査で得た結果を市民の皆さんによるワークショップにお示しし、どのような改修をしたらいいのかを検討していただくための基礎資料とします。市民に対するアンケートのほか、既存データなどを活用し、施設にどのような市民ニーズがあるかを調査して、検討の材料とする予定でございます。
神保委員	どのような施設にしたらいいのか、市民から希望を聞くということでしょうか。
中島生涯学	調査により得られるデータやアンケート結果などにつきましては、市民ワークショップで

習課長	市民の皆さんに検討していただくために使う資料として使うほか、教育委員会が検討する際の資料としても活用する予定でございます。
神保委員	具体的な改修内容はいつ発表されるのでしょうか。着工が令和5年度、オープンが令和6年度ということなので、令和4年の後半に発表されるのでしょうか。見通しがあれば教えてください。
中島生涯学 習課長	調査結果につきましては、令和4年の6月から7月にはまとめたいと考えております。今回、予算案の議決をいただいたあと、4月に入ってから業者に発注して調査を開始します。
神保委員	このような施設になると市民に発表できるのはいつになるのでしょうか。
中島生涯学 習課長	どのような改修方針にするのかということは、秋頃には示したいと考えております。現時点では調査する事業者や設計する事業者がまだ決まっておりませんので、4月に事業者と契約締結後、スケジュールについても協議しながら進めていきたいと考えております。
神保委員	令和4年度は令和5年度の改修工事に向けた準備期間だと思います。令和5年度の予算はどうなるのでしょうか。
中島生涯学 習課長	工事自体は令和5年度に実施いたしますので、来年2月の本会議で、改修内容や予算額の案をお示しできると思います。
高木委員長	今後、市民アンケートをお考えになっているようですが、それは広く一般的な市民アンケートと受けとめてよろしいのでしょうか。それとも、市民活動団体に対してのアンケートになるのでしょうか。広く市民に利用してもらうという前提のものとアンケートとなっておりますけれども、建物そのものをどのように改築していくのかが見えていません。今は町村農場の歴史的なものを展示していて、全ての部屋が空いているという状態ではありません。市民が、会議などができる部屋が一か所あります。それをどう活用していくのか、展示部分も含めて今後の活動にどう活かしていくのかが見えないものですから、お聞きしたいと思います。
中島生涯学 習課長	どのような改修を行うのかということは、これから市民ワークショップの結果も踏まえて決めていきますので、現段階は白紙でございます。市民の皆さんに議論をしていただく上で、どのようなデータの示し方、データの取り方が望ましいのかということは、事業者が決まり次第検討していきたいと考えています。一般的には、既存の統計データで不足する部分をヒアリングしたり、郵送による市民アンケートを行ったり、インターネット調査をするなど、色々な手法がございますので、最良の選択をしたいと思います。
高木委員長	今年度、新規事業が久方ぶりに提案されております。旧町村農場保存活用推進事業もそうですし、林木育種場でのソフト事業や市民芸術祭開催支援事業における新しい取り組み、そ

	れから、食と自然を満喫できる体験型学習事業も提案されています。今まで培った事業も大切ですし、また新たに挑戦していく事業というのもとても大きなウエイトを占めると期待しており、ワクワク感を持っております。 市民芸術祭開催支援事業の中の、まちなかアート月間というのはどのような事業なのか説明いただけますでしょうか。
中島生涯学習課長	昨年の秋に、大麻銀座商店街で学生や若手作家が絵画とオブジェを商店街や店舗に飾って、来店する市民の方や通りかかる市民の方に見ていただくという事業がございました。その事業をさらに発展させまして、市内の芸術系の学部がある大学の学生と協力しながら、1か月間くらいのアート展を行いたいと考えております。今年度、大麻銀座商店街で開催されたアート展は、現代アートといわれる分野で抽象的な作品が多くありました。古典的、伝統的な芸術作品とは少し違う若者らしい作品展示が多かったように見受けられます。まちなかアート月間については新規事業ですので、モデル的に始めて改善しながら進めていきたいと考えております。
高木委員長	せっかくの企画なので、ただ飾って置いてあるからご覧くださいというだけではなく、盛り上げていく必要があると思います。市民に対するアピールもそうですし、そこを受け皿とする会場の方の協力も必要になってくると思います。ぜひお互いに協力、協働しながら盛り上げていただければ、意義がある取り組みになってくると考えております。 江別の食と自然の体験型学習では、子どもたちにとってもふるさと江別の自然環境や地場産業というものは、既に学校給食では導入されていて意識付けはされていると思いますが、どのような場所で作られているのか、どのような人たちの手によって作られているのかということも含めて、実感していただく場になればいいと思います。お米を作っているところを見たことがないという子どもたちがたくさんいらっしゃるかもしれませんが、私は大人になってから初めて江別の大麦畑を見て、大麦の穂というのはこんなに大きいのかとすごく感激しました。子どもたちが早い時点でそういう体験をすることは記憶に残っていくことになり、江別を育む力にもなると思います。ぜひ、ただ単に何かを作って食べるだけではなくて、その先のことも含めて、体験の場を提供していただきたいと思います。
石川委員	林木育種場旧庁舎保存利活用推進事業について、昨年8月4日のこの会議で民間事業者による利活用を進めていくとお話を伺ってございました。その後、民間利活用が始まったということですが、どちらの団体に決まったのでしょうか。
中島生涯学習課長	林木育種場の利活用につきましては、株式会社珈房サッポロ珈琲館という札幌の飲食業の事業者が決まりました。事業内容といたしましては、現在、琴似にあります本社事務所を林木育種場に移転することが中心の計画でございます。また、本社事務所の移転だけではなく、建物の一部を使って喫茶事業を行うほか、市民の皆さんに使っていただく市民ギャラリーと多目的ルームを開放するという計画になっております。その市民ギャラリーと多目的ルームをせっかくですので市でも活用させていただき、林木育種場の建物としての歴史的な価値を来た方に感じていただくイベントを行います。

高木委員長	林木育種場の活用事業者の指定の条件としては、市民向けのギャラリーなどをオープンすることによって市民に貢献するという条件がついていたと昨年度伺っていて、活用事業者によってそのような事業が開催されていくと思っておりますけれど、さらに市の事業としても行うと捉えてよろしいでしょうか。
中島生涯学習課長	林木育種場の歴史的な価値をPRするため、イベント事業として市が開催するということでございます。したがって、サッポロ珈琲館の運営を支援するということではなく、せっかく再整備されて市民の皆さんに綺麗になった林木育種場の歴史を感じていただける状態になりましたので、市がPR事業を行っていかうというものでございます。具体的には建物歴史セミナーとして、歴史的建造物の専門家を講師として建物の歴史を解説していただくセミナーや、市内大学によるプレゼン会につきましては、学生同士でアイディアを出し合ってこの建物を活用した地域の活性化に関するアイディアコンテストを開催したいと考えております。また、コワーキングビジネス体験会につきましては、オープンするカフェは電源やインターネットのWi-Fi電波を使える施設になる予定ですので、勉強や仕事をしていただくような提案を今後市民にしたいと考えております。
黒河内委員	スポーツ課新規事業の高校総体北海道大会開催事業の会場はどこなのでしょう。
遠藤スポーツ課参事	高校総体の会場で予定されておりますのは、水泳競技につきましては野幌総合運動公園の総合体育館内のプールです。そちらに50メートルの競泳用プールと飛び込み用プールを備えておりますので、そこでの開催を予定しております。次にホッケー競技につきましては、同じく野幌総合運動公園内にある人工芝のホッケー場をメイン会場としますが、会場が不足しているものですから、不足する部分については北海学園札幌高校のグラウンドと札幌ドームの芝のサッカー練習場を併用する予定でございます。
黒河内委員	野幌総合運動公園の中をよく歩くのですが、建物の外側の部分がかなり傷んでいて、夏と秋に歩いていると色々なところがボコボコしていると感じていました。会場にするに当たってそういうことは関係ないのでしょうか。
遠藤スポーツ課参事	道立野幌総合運動公園は北海道の施設でありますので、市の方で整備をすることは難しいのですが、ご意見をいただきましたので、ご期待に沿えるような整備ができるかどうかはわかりませんが、準備作業を進める中で実行委員会に伝えていきたいと思っております。
高木委員長	セラミックアートセンターの予算案には、企画の中で特別展が記載されていません。このコロナ禍で、なかなか札幌まで出ることが躊躇される状況なので、市民にとっては江別市内で楽しませてくれる場というのはとても貴重になっていると感じております。いつも、特別企画展の時は友人を2、3人誘って伺っているのですが、そういう楽しみが一つ減ってしまったものですから、新年度の予算の中では無理だったのでしょうか。それとも特別な企画が別にあるのでしょうか。去年はどこかの巡回展を利用して江別で行ったと聞いてお

兼平郷土資料館参事 高木委員長	りますし、そういうチャンスがなかったのでしょうか。 市民の皆さんへの芸術鑑賞の機会としましては、私どもで行っている特別な企画展のほか、貸館でもございますので、令和４年度におきましても恒例の人形展のご利用が確定しておりますことから、芸術文化に触れる機会は令和４年度も変わらず設けてまいります。一方で、コロナの影響も考慮しなければなりません。他館から作品を借りる展覧会や巡回展などは、コロナによって中止又は延期となるとかなりの影響を受けるものですから、令和４年度につきましては控えようと思っております。ただ、先ほど申し上げたように、主催事業の他に貸館事業もございますから、これまで同様、市民の皆さんの芸術鑑賞の機会は可能な範囲で充実させていきたいと思っております。 ほかに質問等はございますか。 (質疑終了)
5 議題 令和４年度社会教育予算（案）に係る補助金について	
高木委員長 中島生涯学習課長	次に、議題「令和４年度社会教育予算案に係る補助金について」の説明をお願いします。 令和４年度社会教育予算案に係る補助金交付調書についてご説明いたします。資料１４ページをお開き願います。 社会教育法の第１３条に「地方公共団体が社会教育関係団体に対し補助金を交付しようとする場合には、社会教育委員の会議の意見を聴いて行わなければならない」と規定されていることから、交付団体や補助する事業内容についてご説明するものです。 上から３段目の「生涯学習団体支援事業」は、江別市生涯学習推進協議会の活動に係る経費を補助するもので、当協議会では、生涯学習に関する講座を開催しているほか、生涯学習に関する情報を広報誌で定期的に発信するなど、市民の主体的な生涯学習活動を支援しています。 続きまして下から２段目の「市民芸術祭開催支援事業」は、まちかどコンサート開催に係る経費を実行委員会に補助するほか、令和４年度は先ほども申し上げましたとおり市民ミュージカルの準備に当たる年となるため、実行委員会に対し脚本や作曲などに要する費用を補助します。また、５年に１度開催している市民美術展受賞作品展と、新規事業であるまちなかアート月間のそれぞれの実行委員会に対して、開催に係る費用を補助します。 一番下の段の「芸術鑑賞招へい事業」は、芸術鑑賞の機会を充実させることを目的に、舞台芸術分野のプロを招へいし、質の高い公演を企画する市民団体を支援するもので、音楽公演団体、演芸公演団体、演劇公演団体の活動を補助しております。 １５ページをお開き願います。 上から２段目の「はたちのつどい開催事業」は、新成人を祝福・激励し、社会人としての責任と自覚を促すことを目的に開催する「はたちのつどい」に係る経費を補助します。なお、令和４年４月１日の民法改正に伴い、成年年齢が２０歳から１８歳に引き下げられますが、成人式の対象年齢はこれまでどおり２０歳とし、式典の名称は、これまでの「成人のつどい」

高木委員長	から「はたちのつどい」に変更して開催いたします。 最後に下から４段目スポーツ大会等振興補助事業でございますが、原始林クロスカントリー大会などのスポーツ大会、健康体力づくり指導相談事業、スポーツ指導者養成に対して、補助を行うものでございます。説明は以上でございます。 ただいま、社会教育予算案に係る補助金について説明がありました。補助金の交付については、生涯学習課長から社会教育法第１３条の規定について説明があったように、「補助金を交付しようとする場合には、社会教育委員の会議の意見を聴いて行わなければならない」と定められていることから、そのことを踏まえて意見があればお出しください。 (質疑なし) それでは、提出されました令和４年度 社会教育予算案に係る補助金の交付について、社会教育委員の会議として確認をした、ということで終了したいと思いますのですが、よろしいですか。 (一同了承)
６ その他	
高木委員長	次に、その他について、事務局から何かありますか。
布施生涯学習係長	委員の机の上に社教情報を配付しておりますので、ご一読願います。
高木委員長	その他に委員の皆さんから何かありますか。
辻副委員長	１月に開催された成人のつどいに娘が参加させていただきました。コロナの影響で直前で式典が中心になってしまいましたが、子どもたちは久しぶりに同級生と会うことができ本当に喜んでいました。式典がなくなってしまったのは大変残念なことですが、ステージ上で写真撮影の許可をいただいて、マスク姿ではありましたが皆で写真を撮ることができたと聞いております。会を開催していただきましたことを保護者として心からお礼を申し上げます。本当にありがとうございます。また、遠方に住所を移さなければならなかった娘の友人が、事前に市役所に申し出ましたら参加はがきを送ってくださったと聞いております。江別市の対応に本当に感謝しておりました。子どもたちに代わって重ねてお礼を申し上げます。ありがとうございました。
高木委員長	企画された事業の中でできた事業とできなかった事業が今年度も多々ございました。無事できたことで一安心というところと、市民もそれでよかったという思いが伝わったと思います。ただ本当に残念なのは、色々と企画をされていて、直前に中止になってしまったという事業がたくさんありました。市民にとっては、準備を重ねてきたことをお披露目することが

西田教育部 長 高木委員長	できなくなって、本当に残念な思いをした方がたくさんいらっしゃると思います。今後もコロナの影響が続くことが予想される中、来年度も色々な事業が企画されていますが、どこまで実施できるのかという不安を市民の皆さんもお持ちだと思います。市民はそういう不安を抱えながら事業を進めていかなければなりません。最後になりますけれど、今後の行政の姿勢というものを示していただいて、私たち市民もそれを勇気に変えていきたいと思っておりますので、コロナ禍の中での行政の思いを述べていただけますでしょうか。市民に発信していく側として、どのように考えているのかをお話ししていただきたいと思います。 本日は来年度の予算案をご審議いただきありがとうございました。新型コロナウイルスは、いつ収束するのか我々もまだ見込めない状況です。一方で、この2年間の経験が蓄積されてきています。最初の頃は、コロナウイルスというものがどういうものか全くわからずに、安全策をとって中止という形を多くとっておりましたけれども、今はどうしたら工夫してできるだろうかという考え方にシフトしてきております。ですので、令和4年度につきましては、基本的には事業を開催する方向での予算編成としております。感染対策は、仮にコロナが収束しても続くだろうという想定のもとです。新しい生活様式と言われておりますけれども、コロナが収束してもマスク着用、換気、消毒などの対策は続いていくという想定のもとで色々な予算を編成し、事業内容を計画しました。最悪の事態を想定しつつですが、できるだけ開催する方向で考えていきたいと考えております。そしてそれを効果的に発信していきます。今はオンラインが普及してきていますので、今後もオンラインを活用して発信していくことを視野に置いて展開していきたいと考えております。何かありましたらまたお気軽にご意見をいただければ、それに対応していきたいと考えております。 ありがとうございます。部長からお話を伺って一安心しております。この状態を打破して上手に付き合っていかなければならないという思いは皆さん一緒ですが、それがお互いに1個共通の思いになっていなかったというのがこの1年間だったと私は思っています。必ずしもやることが大事ということではありませんが、そういう思いを持ちつつ、できることはする、できないことはできないという判断を共通して持つことが大事だと思っています。今、それぞれの思いをこの場で伝えられたと確信を持てたことは、市民にとっても大きな力になったと思います。
7 閉会	
高木委員長	他に、委員の皆さんから質問、意見等はございませんか。 (質疑なし) 他になければ、以上をもちまして江別市社会教育委員の会議を閉会いたします。皆さん大変お疲れ様でした。